

「まもる子」「わらう子」「助け合う子」 ～「ありがとう」があふれる学校～



時計台



佐世保市立日宇小学校

令和6年度 学校だより Vol.6

令和6年6月28日

文責 校長 永柄 孝知

超えてはいけない一線がある

昨日からの大雨で、下校や登校に支障が出るのではと心配しました。佐世保はそこまでの大雨ではなく、今朝からも子供たちは通常通り登校できて良かったです。

「ん？」と思われた方がいらっしゃると思います。佐世保市は大雨にならなかったですが、場所によっては、大雨で被害がでたり、登下校できなかつたりしたところがあるので。自分たちが良ければそれでよいのでしょうか？そうではありませんよね。

最近、心が痛くなるような事件が報道されています。特に気になるのは、人の命を奪う事件が多いことです。その多くは、佐世保から遠く離れた地での事件ですが、佐世保で起きていないから安心してはいけません。

人間関係において、超えてはいけない一線があることは、保護者の皆様も御存じだと思います。人の命にかかわることや人権に関することなどです。これらのことについて、「ついふざけて」とか「冗談のつもりで」は、許されません。小学生でも許されないことと思います。でも、最近はその人として許されないことに関する事件が、多発しているように思います。事件を起こした人も子供のころ、学校で命の大切さや思いやりについて学んだり考えたりしたはずで、それが心に届き、しっかりと根差していなかったのかと思うと、教育に携わる者の一人としてつらい気持ちになります。そして、今の世の中は、他人事と思っていることが自分事にはならないと決して言い切れない社会になっているのかと、日々危惧しています。保護者の皆様はいかがですか？

6月の「いのちかがやく強調月間」も今日で最終日です。最後に佐世保大空襲を語り継ぐ平和集会を行いました。今の当たり前の生活が、本当は当たり前ではなく、たくさんの人の想いや願いがあって成り立っていること。そして、その想いや願いを大切にしていくことは、6月だけでなく、日々意識していかなければなりません。

「超えてはいけない一線」とはどんなものなのか、御家庭でも話していただければ考えます。学校だけで考えることでは、子供たちの心に深く根ざしていくのにも限界があります。上記に天気の話ではありませんが、自分たちさえよければよいのではなく、客観的に物事を考えられる子供たちを育てていくためにも、子供たちが一番大好きである家族と、いろいろなことを深く話すことがとても大切だと思います。どうか御理解の上、御協力の程よろしく願いいたします。

【お願い】 来週は梅雨も一休みし、暑くなる予報が出ています。熱中症への注意を怠ら無いよう学校でも配慮します。御家庭でも水筒やタオル、赤白帽子の着用など声をかけていただきますようお願いいたします。

本校ホームページも適宜更新していますので、御確認をお願いします。



← 日宇小学校ホームページ <http://www.city.sasebo.ed.jp/es-hiu/>

日宇小学校 緊急連絡用メールアドレス hiues6904@gmail.com →

